

## プログラミング基礎学ぶ

坂井、あわら 小学教員 必修化前に



プログラミングに挑戦する教員＝6日、坂井市春江西小

坂井、あわら市内の小学校教員を対象にしたプログラミング教室が6日、坂井市春江西小で開かれた。26校から31人が参加し、子ども向けのプログラミング用パソコンを実際に操作しながら基礎を学んだ。

2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されるのに向け、坂井地区小学校教育研究会視聴覚部会の夏季研修会として実施。ソフトウェア開発会社「j.i.g.

j.p.」(鯖江市)の福野泰介会長が講師を務めた。

同社が開発した手のひらサイズのプログラミング専用パソコン「IchigoJam(イチゴジャム)」を教材に使用した。参加者は講師に教わりながらコマンド(命令)やプログラムを入力。パソコンに付いた発光ダイオード(LED)を点滅させたり、川下りのように障害物をよけるゲームをしたりしながら仕組みを学んだ。(黒田美紗)